



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



エフコムベースボールクラブ

第49回全日本クラブ野球選手権第一予選福島県大会

◇試合結果◇

- 一回戦 V S 全白河野球クラブ (12対0) 勝利
- 準決勝 V S ALL北嶺 (8対1) 勝利
- 決勝 V S オールいわき (17対4) 勝利

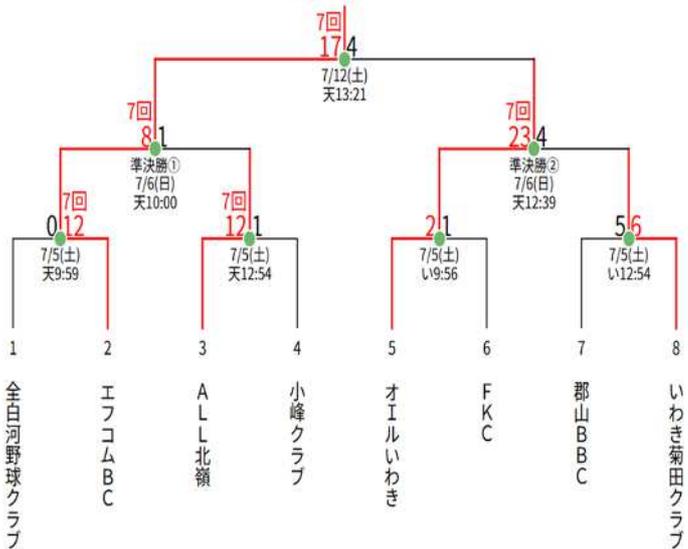
この勢いで全国大会への階段を駆け上れ!

祝優勝



■第49回全日本クラブ選手権第一次予選兼第11回JABA東北クラブカップ福島大会

エフコムBC



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

エフコムBC 中島 周作 監督兼内野手、主将の八百板 飛馬 外野手と
最高殊勲選手賞の大内 遼河 投手より本大会のコメントをいただきました!



中島 周作 監督兼内野手

クラブ選手権福島県大会において、沢山の応援を頂きありがとうございました。応援が力になり優勝する事ができ、とても良い経験になりました。勝つ事だけでなく、内容に拘りを持って挑んだ大会でした。随所に良いプレーもあり収穫のある試合を行えた反面、課題も見付き今後の練習に励んで参ります。次の東北大会でも優勝して、全国大会に繋げていきます。今後とも応援の程よろしくお願い致します。



八百板 飛馬 外野手 (主将)

クラブ選手権一次予選も熱いご声援を頂きありがとうございました。皆様のご声援があり優勝する事が出来ました。まずは、県大会で優勝し東北大会の切符を手に入れたことを嬉しく思います。今大会は、全てコールドスコアで勝利し総力戦で戦い抜く事が出来ました。

私達の目標はクラブ日本一です!東北大会でも、エフコムBCらしさ全開で優勝します!今後とも、ご声援の程よろしくお願い致します。



大内 遼河 投手

今大会も応援ありがとうございました。まずは県大会も良い形で終わることができ、ほっとしております。個人としても上り調子で夏を迎えることができています。今年、クラブ日本一になるために引き続き全力を尽くします。

今大会もたくさんの方に来ていただきありがとうございました!
皆様の熱い応援が私たちの力に変えてくれます!



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



エフコムベースボールクラブ

一回戦 V S 全白河野球クラブ

先発は新人の山形。初回は三者凡退、2回は三者連続三振と最高の立ち上がりを見せると、その後もテンポの良いピッチングで相手打線に的を絞らせません。打線は2回、先頭の7番渡辺翼が死球、大川のレフト前ヒット、岩崎も死球でノーアウト満塁として、ここで1番島崎、2番伊藤琉晟の連続安打、3番松嶋のセンターオーバーへのタイムリーツーベース、その後も高野、渡辺翼のヒットなど打者12人の猛攻でこの回に7点をもぎ取り主導権を握ります。投手リレーは5回に大内、6回からは長根が投げて相手に付け入る隙を与えません。4回以降も四死球にヒットが絡む展開で点を追加し合計12得点、7回コールドゲームで準決勝に駒を進めました。

山形 胤舜 選手 <先発>
投手/出身校：弘前学院聖愛高校 ⇒ 青森大学

高野 光輝 選手
捕手/出身校：聖光学院高校 ⇒ 敬愛大学



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

準決勝 V S ALL北嶺

先発の渡邊拓海が5回無失点と、相手打線を抑えてゲームを作りました。エフコムBCは3回先頭の茨木が右中間を破るツーベースヒットで出塁すると、3番松嶋が打った瞬間それと分かる豪快なホームランを放ち2点を先取します。4回には高野がセンターへのヒット、続く大川のレフトオーバーの当たりがタイムリーとなり1点を加えます。少ないチャンスを活かした展開の中、6回裏は相手の守備の乱れが重なり5点を追加。最終回となった7回、照井が先頭打者を出すも後続を無難に打ち取り、7回コールドで勝利し東北大会出場の切符を手に入れました。

渡邊 拓海 選手 <先発>
投手/出身校：酒田南高校 ⇒ 東日本国際大学



茨木 響也 選手
内野手/出身校：学法石川高校 ⇒ 八戸学院大学



松嶋 拓郎 選手
内野手/出身校：文星芸大付属高校 ⇒ 仙台大学



照井 壮瑠 選手 <抑え>
投手/出身校：福島北高校



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

決勝 VS オールいわき

初回、2番八百板卓丸、3番松嶋の連続安打、5番伊藤海斗が四球を選びチャンスを広げると、6番新人の大川がレフト前にタイムリーヒットを打ち2点を先制します。2回を終わって6対4と2点リードも展開が定まらない中で、3回の攻撃では3点を追加。その裏から登板した大内が3イニング無失点で切り抜けチームに流れを呼び込みました。打者陣は八百板飛馬、卓丸、島崎が3安打を記録し、6回には更に6点を加えると、ピッチャー陣も佐藤翔、山形が無失点リレーで繋ぎます。17対4で本大会三試合連続の7回コールドゲームで勝利し、全日本クラブ野球選手権二次予選東北大会に1位通過での出場が決定しました。

大内 遼河 選手 <中継ぎ>
投手/出身校：福島高校 ⇒ 東北学院大学



大川 剛史 選手
捕手/出身校：日大山形高校 ⇒ 東北公益文化大学



八百板 飛馬 選手
外野手/出身校：聖光学院高校



八百板 卓丸 選手
外野手/出身校：聖光学院高校



応援ありがとうございました!

※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。